

(仮称) 白石中央スマートインターチェンジ 及び国道 4 号白石南拡幅事業と一体となって 進める持続可能なまちづくり

白石市 建設部 都市創造課 スマートインターチェンジ・企業立地推進室

1. はじめに

宮城県白石市は、県南部に位置し、江戸時代より栄えた伊達家の重臣片倉小十郎が築いた城下町です。数多くの名所や史跡を有し、いにしへの文化を伝えています。西には蔵王連峰を擁し、阿武隈川の支流である白石川の清流など四季折々の自然に恵まれています。市中心部にある「白石城」は、全国でも数少ない木造のお城として平成 7 年に忠実に復元し、令和 7 年に開門 30 周年を迎えました。

また、本市は昭和 29 年の合併により県南地域の最初の市として誕生し、政治・経済・産業・観光等のそれぞれの分野において、県南地域の中核的役割を担っておりますが、少子高齢化・人口減少に加え、高齢化率が高く地域のまちづくりの支え手であった世代も減少局面を迎えており、持続可能なまちづくりを進めるうえで大きな課題となっています。人口は、約 3 万人（令和 8 年 3 月末現在）、面積は県内 7 番目となる 286.48km² を有しています。



白石城写真

2. (仮称) 白石中央スマートインターチェンジ (IC) の整備と国道 4 号白石南拡幅の新規事業化

国道 4 号と東北縦貫自動車道は、本市を南北に縦断する、地域生活を支え、地域住民の生活に密着した重要な社会インフラです。

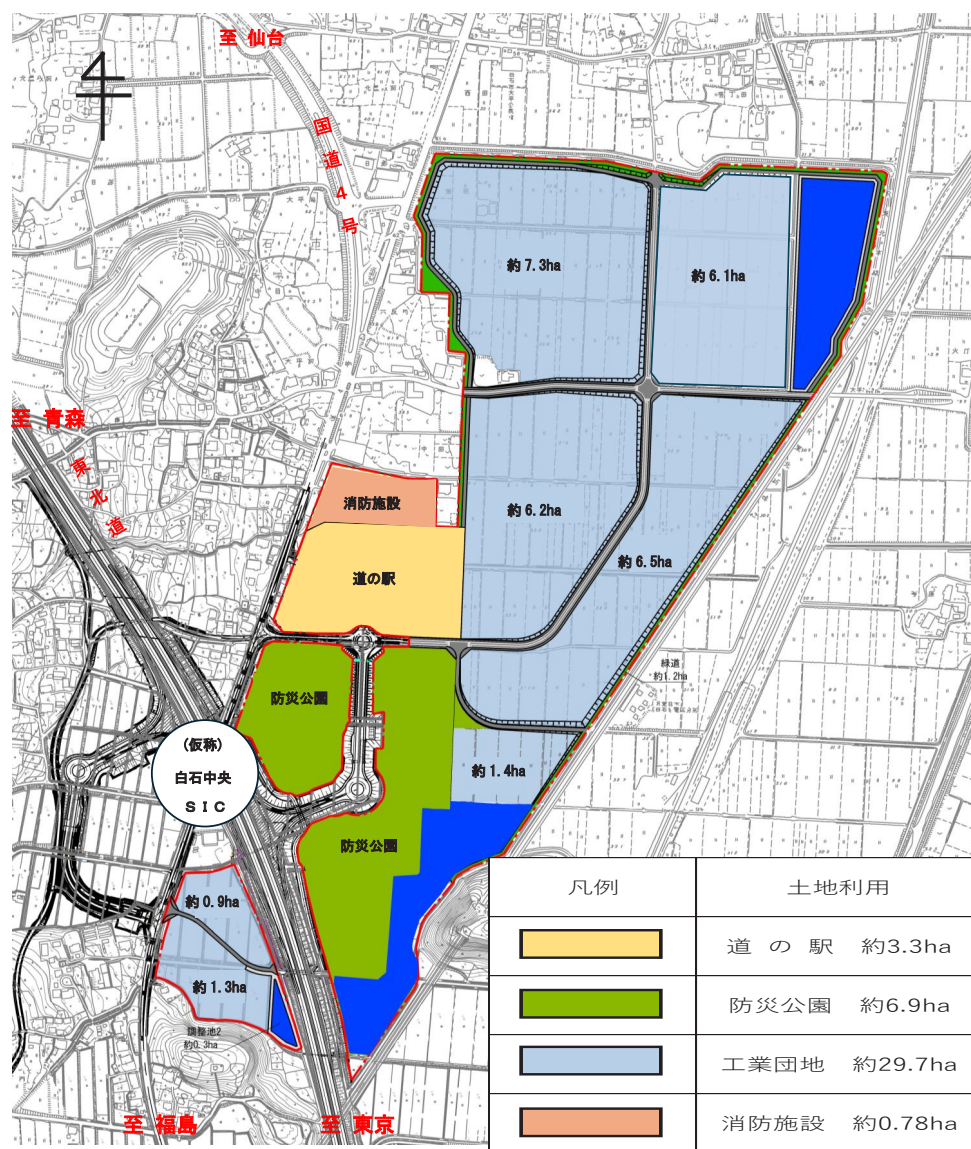
東北縦貫自動車道は、市北部に白石 IC が開通当初から設置され、企業進出や沿線企業の活動により、地域経済の発展と地方創生に大きな役割を果たしてきました。

一方で、白石 IC は中心市街地からは約 6km の離れた場所に位置していることから中心市街地へのアクセス性が低く、ハブ機能を担う立地や特性を有しているにも関わらず、強みを活かせていないことが課題となっています。

そのため高速道路ネットワークの効果を市民が効果的に享受できるよう、令和 2 年度に国土交通省より本市中心部南に（仮称）白石中央スマート IC が新規事業化されました。

本市ではその効果を最大限発揮するため（仮称）白石中央スマート IC と一体となって、①産業活性化の新たな産業拠点（工業団地）、②賑わいと活力あふれる新たな交流拠点（道の駅）、③健康で生きがいを共有できるスポーツ・レクリエーション拠点を整備する周辺整備の事業化を決定しました。

また、本年度国土交通省より国道 4 号白石南拡幅の新規事業化の発表がありました。現在事業が進められております（仮称）白石中央スマート IC 及び（仮称）道の駅しろいし ZAO を含めた周辺整備事業との相乗効果により、東北縦貫自動車道とのダブルネットワークの強化が図られ、地域の活性化や工業団地への企業誘致の促進が期待されます。



土地利用計画図

3.（仮称）道の駅しろいし ZAO と仙台南部工業団地の整備

南東北 3 県（宮城県・福島県・山形県）の各県庁所在地から約 1 時間圏内という交通拠点としての立地環境を活かし、「道の駅」と「公園」の一体的な整備を進めています。

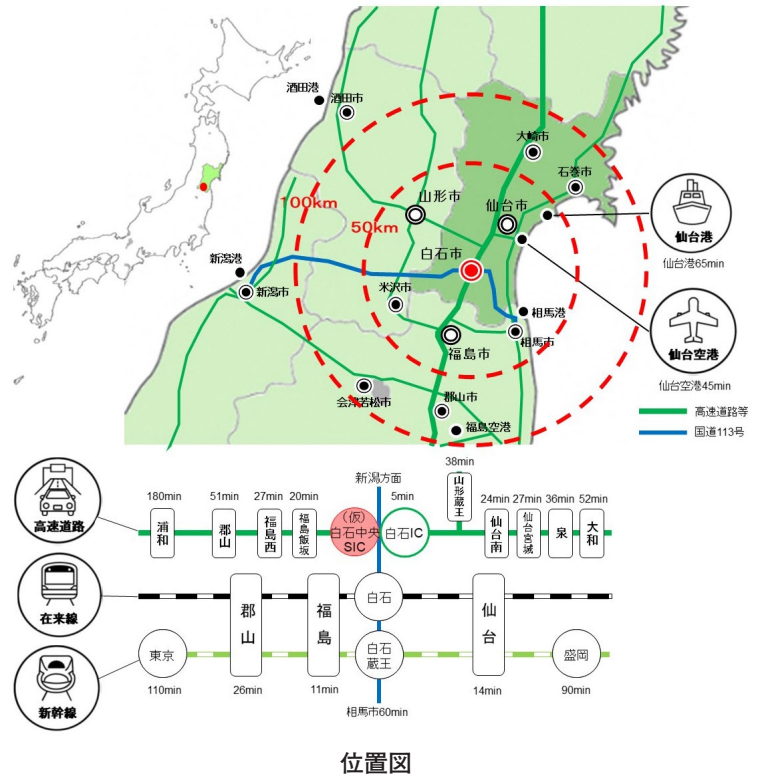
「道の駅」は、同施設を拠点とした観光や歴史・文化の情報発信、特産品の販路拡大、地産地消をコンセプトとした飲食を提供するなど、人々が交流する地域活性化の拠点としてだけでなく、中心市街地とのアクセス向上による連携などにも寄与する中核的な場の形成を図り、「地方創生・観光を加速する拠点」を目指していきます。

また、一体で整備する「公園」は、多世代交流を図ることができることに加え、隣接地に消防署の移転整備を進めることで防災機能を強化し、近年激甚化、頻発化する災害に対し、広域的な支援も可能とする「防災公園（スポーツ・レクリエーション施設）」の整備を行い、広域的な防災拠点「防災道の駅」の選定を目指します。

この「道の駅」と「公園」の整備にあたっては、地域経済の活性化につながる起爆剤になりうる重要な事業です。そのため、民間から新しい提案を積極的に取り入れた PFI 事業として進めています。

さらに、（仮称）白石中央スマート IC に直結するこの場所は、仙台市、山形市、福島市まで 50km 圏内に位置するなど、交通アクセスに恵まれた環境に位置しています。

本市の交通アクセスなどのポテンシャルを最大限活かし、魅力ある働く場の確保、若者の移住・定住を促進するため、企業誘致の取り組みを進めていきます。



イメージパース

4. おわりに

（仮称）白石中央スマート IC 及び国道 4 号白石南拡幅の新規事業化を契機とした周辺整備により、市内外からさらなる観光客などを呼び込み、中心市街地の活性化と賑わいの創出による移住・定住人口の増加や交流・関係人口の拡大の取り組みを進めていきます。

また、新たな企業誘致による働く場の確保など持続可能なまちづくりを目指すため、（仮称）白石中央スマート IC 及び国道 4 号白石南拡幅の事業と一体となって「選ばれるまち白石」の実現に向け取り組んでいきます。